

CAGLIERO

カリエロ11 サレジオ会
宣教ニュース

N.98 - 2017年2月



サレジオ会宣教部門によるサレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信

準備はできていますか？

総長は宣教の呼びかけという贈りものを私たちにくださいました。もう読みましたか？ 12月8日付で、世界中のサレジオ会員にあてたものです。カリエロ11の1月号はこの呼びかけを取り上げました。

それは総長自身の発案でした。宣教顧問は喜びをもってこれを受けとめ、熱意をもって後押ししました。総長と私は12月の初め、総本部で一緒に朝食をとっていました。すると総長が言いました。「実はね、全会員にあてて宣教の呼びかけをしたいと思っているんだ。」その日の昼食前、ドン・アンヘルは早くも最初の草稿を送ってきました。情熱に満ち、明瞭に語るものでした。その夜には、手紙を翻訳に回すことができるまでになっていました。

宣教家族に与えられる聖霊の賜物は、このようにして生まれるのではないかと私は思います。そっと私たちの扉をたたくのです。「神の聖霊を悲しませないように」(エフェソ4・30)するのは、耳を閉ざしたままでないようにするのは、私たちの責任です。準備はできていますか？

サレジオ宣教の日2017：第一次福音宣教とアメリカ大陸先住の人々

主

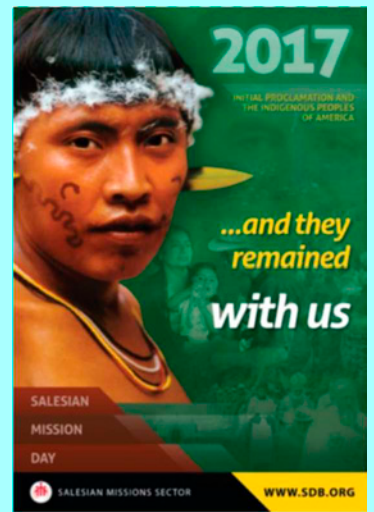
を告げ知らせること、そして最も貧しい兄弟に心を向けることの緊急性への意識を新たにすること-これが世界宣教の日の目的です。1988年以来、サレジオ会も毎年、宣教のテーマを示してきました。宣教の活性化を促進するためです。サレジオ宣教の日は2017年のテーマとして、アメリカ大陸における第一次福音宣教を取り上げます。ラテン・アメリカの先住民族の人々の中でのサレジオ会の宣教体験を紹介するいくつかのビデオを、オンラインで見ることができます。

2015年から2020年にかけての6か年のサレジオ宣教の日のテーマは「第一次福音宣教」です。しかし毎年、検討の上、特定の焦点に絞ってテーマが掲げられます。2016年はオセアニアでしたが、2017年はアメリカ大陸です。

サレジオ会宣教部門によって制作されるこれらのビデオを含むさまざまな資料を通して、ドン・ボスコの息子たちの働きを知ることができます。ブラジル、マナウス州の二つの重要な宣教地の先住民族ヤノマミの人々の中で；ペルーのオアハカ州で、インカの子孫、ミヘスの人々、また同じ州の別の先住民族チナンテコスの人々の中で；アルゼンチンのパタゴニア最南端の地に暮らす先住民族、マプーチェの人々の中での働きです。

「世界中のサレジオ会司牧・教育共同体の宣教精神の表れであり、動かす力である」とサレジオ会宣教部門が説明するサレジオ宣教の日のおかげで、サレジオ会の多様な姿が伝えられ、具体的な形でお互いに助け合うことができ、同時に、新たな宣教召命を呼び覚ますため、同じ道を歩むことができます。

ビデオはYouTubeのANSチャンネル <http://tinyurl.com/hznpqdt> で視聴でき、冊子・ポスターは <https://tinyurl.com/hmtmxys> からダウンロードできます。



総長によりパプアニューギニア・ソロモン諸島準管区 (PGS) の長上に任命された宣教部門、『カリエロ11』編集長
アルフレッド・マラヴィジャ神父様、心よりお祝いし、お祈り申し上げます。

私の最高の喜びは、ポロロスの人々の中で宣教師として働くこと



私

は、先住民への宣教事業の偉大な歴史をもつ管区に所属するサレジオ会員です。特にポロロスの人々です。私は養成中、その歴史について読み、よりよく知ることができました。宣教師会員のすばらしい生きたあかしが鍵となり、ポロロスの人々と共にいたいという望みが生まれました。修練期のとき、管区内の先住民の宣教地すべてを訪れる機会に恵まれました。メルリに到着すると、一目ぼれしました。親しみやすく、困難のただ中にありながら喜びにあふれた人々。その雰囲気は、私の関心を強くひきつけました。神様はこういったすべての出来事を通して、私の心のうちにポロロスの人々の中で宣教師になり、この人々と共に神の国を築くという夢を確認させてくださいました。

ブラジルの先住民の人々は多くの差別にあいます。大きな挑戦は、すべての人のうちにメンタリティーの変化を育むことです。先住民の人々を兄弟姉妹として見られるようにすべての人を助けることです。もう一つの挑戦は、自らの歴史の主演となり、自らの権利のために闘うようポロロスの人々を動機づけることです。

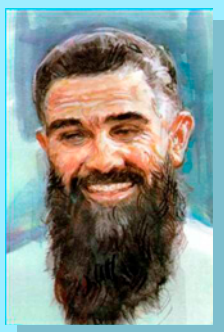
先住民の土地を切り裂いて建設され、近隣の都会と結ぶ幹線道路の悪い影響を見るのは何と辛いことでしょうか。若者たちは都会で酒や麻薬を覚え、健康を損ない、共同体の平和が破壊されます。

土地、文化、信仰生活を守ることが日々の挑戦です。私は神の摂理に助けられながら、その挑戦に応えようと努力しています。

しかし、私の最高の喜びは、自分の国でad intraポロロスの人々と共に働くサレジオ会宣教師として呼んでくださった方に、絶えず愛されているという確かさから来るものです。信仰によるこの確かさが、毎日、先住民の兄弟姉妹のために良いことを行う動機となっています。ポロロスの人々と共にいること、その文化的、宗教的な価値にあずかること、先住民の兄弟姉妹と共にミサを祝い、神の言葉を分かち合うことは喜びの源です。私は毎日、ドン・ボスコがカリエロに書き送ったことを生き、実践するように努めています。「できることをしてください。私たちにできないことは神様がしてくださるのです!」

親愛なる若者の皆さん、恐れないでください! 主は兄弟姉妹のうちに、特に最も助けを必要とする人々のうちに私たちを待っておられます。神様はたった一つのことを必要とされます: 私たちの寛大な心です。「先住民の人々の中で自分に何ができる?」と思うかもしれませんが。皆さんに言いましょ、「何をするか」は心配しないでください! ただ心を開いて神様の前に自分を置いてください。呼んでくださる方は、使命を果たすための手段をもくださるのです。私たちの父ドン・ボスコは教えています。「主は私たちを、他者のために、この世に存在せしめました」。勇気をもって、良い羊飼いの声に従順であってください。み国の宣教師としてより近くからご自分に従うようあなたを呼ばれる良い羊飼いの声に!

ブラジル出身、ポロロスの人々への宣教師 アンデルソン・ディアス・デオリヴェイラ神父



サレジオの宣教の聖性のあかし

サレジオ会列聖申請人 ピエールイジ・カメローニ神父

尊者フランチェスコ・コンヴェルティエーニ (1898 - 1976) は、ベンガル (インド) で平和と和解のために働いた宣教師でした。特に家庭の平和のために働きました。結婚したばかりの夫婦にあてた手紙に次のように書いています。「すべての恵みの源であるイエスのみ心があなたがたに健康を与えてくださいますように。イエスが結婚した二人に、神を愛し、互いとすべての隣人を愛する幸せな生活をくださいますように。良い家庭の栄光は、自分を忘れることを学ぶことです、喜びと愛する人々への愛に満ちた心で。」



サレジオ会の宣教の意向

アメリカ大陸のサレジオ会員のために

イエスの貧しい若者たちへの愛を、心の中に生き生きと保つことができますように。

すべてのサレジオ会員にとっての重大な挑戦: 貧しい人、難民、疎外された人々のニーズを知るために目と心を開く勇気を持つこと。その人々の状況は私たちの自己中心によってもたらされました。このことはまた、私たちの組織、家、共同体を開くことへ向かわせませす。一人ひとりのうちにおられるキリストを認めるために。

